

学習へのサポート

保護者・地域の皆様のお力添えで、学習が魅力的になり、深まりのあるものとなっています。

1年生活科「昔遊び」

地域の方々15名、保護者の皆様40名、合計55名の方々を「昔遊びの名人」としてお招きして、教えていただきました。竹馬、こま・ペーパーマ、はねつき、こむぎん、けん玉、お手玉、おはじき、あやどりのほか種々の昔遊びを、子どもたち全員が体験しました。昔遊びのそれぞれの会場は、遊びも楽しむ子ども達の歓声と熱気に包まれました。



2年生活科「まちたんけん」

子どもたちが、地域の商店や事業所・施設・農家など様々な場所をグループごとに訪問し、インタビューをします。これらの活動を通して、自分たちの生活との関わりや地域の人々の思いに気づき、自分自身にあるたくさん人の良さを身につけます。また、各グループを引率する保護者の皆様のおかげで、子どもたちは安全に安心して訪問することができました。



3年社会科「農家の仕事」

農家の見学や農家の方からお話を聞くことで、学習が深まります。



5年総合「大門、新発見・再発見」

水泳の体験活動を通して、水作りや豊かな自然の大切さについて考え、地域の特徴やそれを支える人の思いを大切にすることを大切に育てます。



4年総合「10歳のわたし」

この学期は、まず、自分が暮らすまちの人々への職業インタビューや地域に関する話を聞き、地域の自然や文化、それらを支える人々の思いや願いなどに気づき、地域で活動している人々や顔について考えます。そして、地域を大切にしながら自分の生き方について考えを深めていく学習です。今回は、水作り農家、建築士、ペイントショップ店員、ピアニスト、幼稚園教諭、薬剤師、海防士、医師の6名の職種をゲストティチャーとしてお招きして、仕事の内容、やりがい、苦労、喜びそして将来の夢や職業についてのアドバイスなどを話していただきました。話を聞きながら、子どもたちは、将来の夢や職業、これからの自分の生き方などに思いを寄せたことと想います。



お話し

読み聞かせボランティアの皆様によるお話し会の歴史は古く、毎年、子どもたちが楽しんできた活動です。子どもたちは、「語り手」に引き寄せられ、お話に聞き入っていました。「デジタル化」が進む中、目を輝かせお話しの世界に入っていく子どもたちの姿を見て、改めてお話し会のすばらしさを感じました。今後も、数々のすばらしいお話をプレゼントしていただけることでしょう。



学校行事へのサポート「日光御成道チャレンジ強歩」

「日光御成道チャレンジ強歩」は、6年生が大門宿・大門小から岩槻宿・岩槻城址公園までの約3里（13.5km）を仲間と励まし合いながら歩き通し、強靱な体と粘り強い心を養うことを目的としています。また、郷土の歴史の一瞬に触れ、自分達が生まれ育つ「大門」に一層愛着をもたせたいとの願いもあります。

強歩当日は、交通安全協会、大門地区会・民生委員、のびのび教室の皆様が、「見守りスタッフ」として、コースが分かりづらい箇所や危険な箇所立ち、安全を確保しています。休憩所では、大門地区会・民生委員の皆様が、温かい声援や飴・飲み物を提供し6年生に元気と勇気を与えています。また、保護者・PTA本部役員、自治会、スポーツ推進委員、学生等の皆様が同行スタッフとして、子どもたちと共に歩き、共に疲れをとる中で、数多くの温かい心れあいが生まれています。毎年、数多くの皆様からお力添えをいただき、子どもたちもスタッフも、笑顔に満ちあふれた素晴らしい一日になっています。

子どもたちにとって大きな自信があり、「歴史の町大門」ならではの行事として根付いてきたのは、スクールサポートネットワークの下、保護者・地域の皆様から強力なご支援をいただいている賜です。心より感謝申し上げます。



令和3年度 第4回日光御成道チャレンジ強歩
参加者22 保護者14名 見守り・協力・同行スタッフ119名
総計278名参加！